

一般社団法人ちゃぶ台返し女子アクションの活動について

<当団体について>

- VISION
 - 私たちは女性をはじめとするあらゆる性の方が、自分らしく生き、自由に想いを口にすることができる社会を目指します。
- MISSION
 - 当事者同士がつながり、共に声をあげ、明確なゴールに向けてキャンペーン（草の根の運動）を展開することで、社会的・政策的変化を起こしていきます。
- 3つの柱
 - 性的健康と性的自己決定権が守られる法整備と文化の実現
 - 職場と家庭において平等な役割と機会の実現
 - 女性が主体性を発揮できる制度と文化の実現

<これまでのあゆみ>

- 2015年7月
 - ちゃぶ台返しイベント初開催
- 2015年9月
 - 活動を「ちゃぶ台返し女子アクション」と命名
- 2016年2月
 - 女性65人が感じる生きづらさの声を集めたVOICEを公開
 - 表参道の交差点でガールズパワーパレードを明日少女隊と共催
- 2016年9月
 - ビリーブキャンペーンby刑法性犯罪を変えよう！プロジェクト
 - 性的同意について学べる参加型ワークショップを大学をはじめ、社会人のコミュニティなどで開催。およそ500人以上が参加
 - 2017年9月刑法性犯罪110年ぶりに改正
- 2017年10月
 - 性的同意を文化にすべく、セクシュアル・コンセント・ハンドブックを作成し、大学生の性被害を無くしたい、とクラウドファンディングに挑戦
 - 12月クラウドファンディング達成、ハンドブック作成に取り組む
- 2018年4月
 - 各大学でハンドブック配布開始
- 2018年5月
 - セクシュアル・コンセント・ハンドブック完成報告会を開催
- ~2018年12月
 - 各大学での性的同意・第三者介入ワークショップ開催
 - 大学のチーム立ち上げ・キャンペーンとして動き出す
 - 2万部配布完了

<セクシュアル・コンセント・ハンドブックの内容>

1. セクシュアル・コンセントってなに？

2. 大学生だからこそ考えたい性暴力の問題
3. 自分の身体は自分のもの ～したいこと・されたいことは自分で決める！～
4. どうしたら同意を大切にできるの？
5. 知らんぷり？お節介？見かけたら力を貸せる人になる ～加害者でも被害者でもない、第三者の関わり方～
6. 知っておきたい相談先・リソース

<性的同意について>

- 全ての性的な行為において確認されるべき同意のこと
- 性的同意が広まることで、パワハラやいじめ、差別など様々な暴力をなくす人権意識を広めることができる

<性的同意における大切なこと>

- 非強制性
 - “No” と言える環境が整っていることが重要
 - ” No” を示すことで身の危険を感じる場合の、” Yes” は同意を示したことになる。どちらの選択肢も本人の意思で選べる状態が必要
- 対等性
 - 社会的地位や力関係に左右されない対等な関係であることが重要
 - 先輩、上司、教師、コーチなどとの関係性によって意思表示しにくい場合がある。上の立場にいる場合は、下の立場にいる人に対して十分な配慮が必要。
- 非継続性
 - 一つの行為への同意は他の行為への同意を意味しない
 - その行為一つ一つに、同意が必要です。また、途中で気持ちが変わることも尊重されることが大切。

<チームの役割>

- 事務局
 - 協力団体やメディアとのコミュニケーションなど
- イベントチーム
 - ファンとのコミュニケーションの場を作ったり、ファンドレイズのためのイベントの企画・運営
- デジタルマーケティングチーム
 - SNSでの記事の発信や、ウェブサイトの管理
- 調査・リサーチチーム
 - 海外の事例や活動の参考となるマテリアルのリサーチ
- 大学生オーガナイズチーム

- 大学生のキャンパス内の活動をサポート。チームづくりや、キャンペーンにおける伴走、ワークショップのファシリテートなど
- 大学生メンバー
 - 各大学で、それぞれの文化・特徴に合わせて性的同意を文化にするための活動を展開中。

<活動内容>

- インカレでの学び合いの場
 - それぞれの大学での、配布の際に工夫していることなどを共有し、お互いの活動に生かす
 - 留学経験のある学生も多いことから積極的に海外の事例も取り入れ、自分たちの大学の活動の参考とする
 - キャンペーンに使うフレームワークを学ぶために、講師を呼んで勉強会を開催

<草の根で広がる大学の活動>

- ビリーブ・キャンペーン@創価大学
 - 私たちビリーブキャンペーン@創価大学は、2017年より活動を開始した学生サークルです。「性的同意」「性的自己決定権」を啓発することで、キャンパスレイプの防止に加え一人ひとりの意志が尊重される大学建設のために活動をしています。
- Speak Up Sophia (上智大学)
 - 上智大学で性的同意を広める活動をしているバイリンガルサークルです。ワークショップなどの活動を通して啓発活動を行なっています。4月からは必修科目の教科書に性的同意についての内容が載せられることが決定しました。
- Tottoko Gender Movement (東京大学)
 - 東京大学の学内サークルです。ジェンダーやセクシュアリティ、フェミニズムについてディスカッションや勉強をしたり、性差別・性暴力をなくすためにアクションを起こします。
- Shaberu (早稲田大学)
 - シャベルは、性について話し、性的同意の考え方を広げることで、性暴力被害のない早稲田大学にするための団体です。これまでワークショップの開催や、ハンドブックの配布を行いました。将来的にはすべての学生が性的同意について学ぶ機会を作る制度の設立を目指しています。